

[WG名]

物流DXワーキンググループ

[補助事業名]

物流2024年問題に対する荷待ちゼロサービス「イマツム」評価分析

[幹事企業名]

株式会社ZENSHIN

[WGメンバー]

一般社団法人岐阜県トラック協会
朝日大学
株式会社ブイ・アール・テクノセンター

01

事業概要

トラック運転手の長時間労働と労働環境の悪化に対し、トラックと配送先の位置情報から到着予想時間を割出し、荷主に事前に通知することで荷待ち時間を削減する荷待ちゼロサービス「イマツム」を開発した。

これに対し、物流の専門である(一社)岐阜県トラック協会や学術機関である朝日大学の協力の下、導入効果測定や分析を計り、喫緊の課題である2024年問題を解決する。

02

実施内容

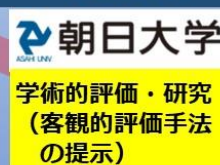
物流2024年問題に対する荷待ちゼロサービス「イマツム」評価分析

物流DXワーキンググループ

【(一社)岐阜県トラック協会】



【朝日大学】



【(株)ブイ・アール・テクノセンター】



【(株)ZENSHIN】



03

検証項目とその結果

○サービス評価分析手法の確立

(1) ユーザビリティのテスト
ユーザーがアプリを利用する際の使いやすさ、操作性などを検証。アプリ利用に関するアンケートで改善点を洗い出した。また、CEATEC2023 岐阜県ブースに出展し、来訪者に「イマツム」に触れてもらい、ヒアリングを行い、追加して欲しい機能等を収集した。

(2) テストユーザーによるテスト
アプリを実際に使用、改善点をフィードバック。アプリの利用目的に応じたトラック運転手などのテストユーザーを選定し、利用に関するアンケートやフィードバックを収集。

(3) システムリソースの評価
・システム側におけるネットワークトラフィックや利用データの増分分析
・利用端末やOS、ブラウザ種類における不具合調査 等

(4) コンプライアンステスト
・アプリが規制や法律に適合しているかどうか。トラック荷待ちに関する情報を取り扱うアプリの場合、プライバシーや個人情報保護に関する規制に適合しているかどうかを検証した。



○荷待ち時間の削減に対する荷主企業の意向調査

「物流業務責任者」宛にアンケート用紙を送付し、回答のあったアンケート結果について分析を行った。

04

今後の展開

【改善方針案】

- ・分析機能の強化 / ・スポット配送機能の追加
- ・データのインポート・エクスポート機能の追加 / ・UI/UXの改善
- ・データの正確性を検証

以上の改善策により、岐阜県内の運送事業者に対して、荷待ち対策として有効となるアプリとなり、導入を促し、2024年問題の解決への一助となるようにする。